

令和 5 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 5 年 2 月 1 4 日

江別市立江別第一小学校

1 本年度の重点目標

主体的に学び 共に学びを深め 自信をもって表現する 子どもの育成

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	「めざす子ども像」の実現状況はどうだったか。 ①思いやりをもち助け合う子 ②すすんで学びよく考える子 ③ねばり強くやり抜く子 ④心も体もたくましい子	A 3.27	コロナ禍もあり、今後、心と体をどう鍛え、たくましさを身につけさせるかが課題である。自己肯定感や自己有用感を高める取組を推進していきたい。	A	A
	「主体的に学び」「共に学びを深め」「自信をもって表現する」子どもの育成ができたか	A 3.35	児童に必要な「資質・能力」を育成するためには、今年度の重点にあるように主体的・対話的で深い学びが必要である。まずは日々の授業改革に取り組んでいく。	A	A

教育課程・学習指導	<p>地域の実態を踏まえた特色ある教育課程の編成・実施に努め、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る指導の充実を図ることができたか。</p>	A 3.29	<p>今年度は外部講師を招いての授業が多くみられ、指導の充実が図られた。今後も外部講師については積極的に活用していきたい。</p>	A	A
	<p>確かな学力の育成に向け、主体的・対話的で深い学びの視点における学習指導を充実させることができたか。</p>	A 3.39	<p>授業の場面で「対話」を取り入れる等の工夫が見られた。今後は対話の質の向上を目指したい。</p>	A	A
	<p>個に応じた指導や、TT 指導、習熟度別指導、合同授業、交換授業など学習形態を工夫し、基礎基本の確実な定着につなげることができたか。</p>	A 3.58	<p>主に算数科において習熟度別授業や TT 授業などの充実も図られた。今後も基礎基本の確実な定着のために学習形態を工夫していきたい。</p>	A	A
	<p>「個別最適な学び」「協働的な学び」のための ICT 機器を有効に活用することができたか。</p>	B 3.13	<p>ただ ICT を使わせればよいのではなく、有効かどうかは重要なので、今後は、活用方法についての知識・技能を教員自身も高めていく必要がある。</p>	A	A
生徒指導	<p>自他を大切にし、互いに認め合い「いじめを絶対に許さない」学級・学校づくりを進めることができたか。</p>	A 3.58	<p>今後も人権教育については、学校全体で取り組んでいく。いじめについては、調査・聞き取り・指導・報告・引継ぎ等を丁寧に、しっかり行っていく。</p>	A	A

	いじめや不登校、問題行動に関わる情報共有と解決に向けての組織的な対応を取ることができたか。	A 3.58	定期的に不登校対応検討委員会を開催し、情報共有を図ることができた。またいじめ防止委員会も開催し、情報共有と役割分担を明確にし、組織的に対応することができた。	A	A
小 中 一 貫 教 育	小中一貫教育のための中学校区内小・中学校との連携を進めることができたか。	B 3.13	第一小は、一中と三中ブロックに挟まれ、学校として動きづらい場面があった。今後は、一中・三中の連携も含め、統一的な部分について整理していきたい。	A	A
特 別 支 援 教 育	児童個々の教育的ニーズに応じた特別支援教育を充実させることができたか。	A 3.58	支援を要する児童や不登校傾向の児童に対し、コーディネーターを中心に、管理職・担外・だんだん教室が連携して対応できた。引き続き、組織的に指導・支援していけるようにしていく。	A	A
働 き 方 改 革	子どもと向き合う時間を確保し、持続可能な働き方の推進を図ることができたか。	A 3.29	職員の勤務の割振りに関しては、今後も最大限活用していく。業務全般の精選は、できることから行い、保護者にも理解を求めていく。	A	A

【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】

- ・先生方の努力の賜物だと思う。今後も学校のためになる取組をお願いしたい。
- ・先生方が大変な中、頑張っているのが伝わる。
- ・どの評価も A でよい。承認する。

【評点】 A：よい    B：おおむねよい    C：ややよくない    D：よくない